

# 施策パッケージ

## 拠点まちづくり支援パッケージ

生活拠点周辺における安心・安全な交通環境の向上を図ります。

既存市街地内の道路を適切に整備・維持するとともに、歩道のバリアフリー化や自転車利用環境の整備を進めます。

- 篠路駅周辺地区の検討・整備
- 重点的・効果的な除排雪の実施(バスレーンや狭小バス路線の排雪強化)
- 総合的な駐輪対策の推進

## 都心まちづくり支援パッケージ

安心・安全な都心交通環境の向上、市内各地や道内外との“人”や“物”の流れの円滑化を図ります。

歩道のバリアフリー化、路上駐車対策等を進めるとともに、路面電車の延伸等の公共交通システムの拡充を進めます。

- 路面電車の既存線ループ化・延伸検討、低床車両導入



札幌市の路面電車▲

## 観光促進パッケージ

利便性の高い交通サービスの提供を図ります。

えきバス・ナビの活用等による利便性向上を進めます。

- えきバス・ナビ、えきバス・テルの利便性向上
- 都心と周辺部観光スポット等を結ぶ交通手段の利用環境の整備
- 都心部に乗り入れる観光バスの乗降場・待機場の検討

## 広域連携パッケージ

道内各地や空港、港湾施設とのアクセス性向上等を図ります。

道内各地や空港、港湾施設とのアクセス機能強化の検討や連携道路等の整備を進めます。

- 都心アクセス強化道路軸の検討  
(創成川通の機能強化、豊平川通の南北延伸)
- 道央圏・札幌圏連携道路の検討・整備  
(札幌大橋、屯田・茨戸通、札幌江別大橋)
- 緊急輸送道路(※9) 未整備区間の整備

## 環境負荷低減促進パッケージ

公共交通の利用促進等による自動車利用の適正化や交通の円滑化を図ります。

公共交通のシステム拡充や利用促進の取り組みを進めます。

- ICカードの相互利用などの利便性向上
- モビリティ・マネジメント(※10)の推進
- 路面電車の既存線ループ化・延伸検討、低床車両導入



ICカード(SAPICA)



路面電車の低床車両(富山市の例)▲

(※8) 複数あるいは異種の交通機関の乗り換え場所。駅前広場やバスターミナルなど。(※9) 地震直後から発生する緊急輸送を円滑かつ確実に行うため、高速自動車国道、一般国道及びこれらと連絡する幹線的な道路並びにこれらの道路と知事が指定する防災拠点と相互に連絡する道路。(※10) 渋滞や環境、あるいは個人の健康等の問題に配慮して、過度に自動車に頼る状態から公共交通や自転車などを『かしく』使う方向へと自発的に転換することを促す、一般の人々や様々な組織・地域を対象としたコミュニケーションを中心とした持続的な一連の取り組み。

## ～ 10年間に行う交通施策等の組み合わせ(パッケージ)～



▲ 自転車駐輪場(大通西1丁目)

駅接続型の路線バスの維持を図るとともに、交通結節点(※8)の機能向上を進めます。

- 地下鉄東豊線栄町駅交通広場の整備
- 効率的で使いやすい地域公共交通ネットワークの構築



▲ JR白石駅周辺地区整備

再開発等のまちづくりと連携し、年間を通じて快適に回遊することが可能な地下歩行空間のネットワーク化とその活用の検討を進めます。

- 南1条地区地上・地下整備の検討
- 西2丁目地下歩道の検討・整備



▲ 札幌駅前通地下歩行空間

都心と高速道路とのアクセス機能強化の検討を進めます。

- 都心アクセス強化道路軸の検討(創成川通の機能強化、豊平川通の南北延伸)



▲ タッチパネルによる公共交通機関の時刻表案内(札幌駅前通地下歩行空間)

観光資源へのアクセス性向上を図り、札幌市内の回遊性を高めるための環境づくりと拠点間の幹線道路強化を進めます。

- 放射道路未整備区間の整備
- シーニックバイウェイの推進



▲ 国道230号

▲ 創成川通(創成トンネル)



▲ 西野真駒内清田線(こばやし峠区間)整備予定イメージ

丘珠空港の道内航空ネットワークの拠点としての機能の維持・強化を進めます。

- 道内航空網の拠点としての利用促進と利便性向上

CO<sub>2</sub>排出量の削減を目指し、道路交通の分散化や渋滞緩和対策による交通円滑化を進めます。

- 交差点改良等による渋滞対策の推進
- バス路線などの幹線道路の整備

冬期道路の円滑性を確保するため、拠点間連携を担う道路や主要なバス路線を中心に、重点的・効率的な除排雪を進めます。

- 重点的・効率的な除排雪の実施(交差点排雪箇所増、バスレーンや狭小バス線路の排雪強化、凍結防止剤の夕方散布の推進など)



▲ バスレーンの排雪作業

(注) 上記については、代表的な交通施策・事業を例示しています。